

COMPASS 発達支援センター武蔵新城

令和5年度

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1		7	国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。	
	2		7	国の定める配置基準では、事業所に児童発達管理責任者・管理者を1名以上配置、児童10名までに職員2名を配置、それ以上の児童が利用する際には、児童5名につき職員を1名ずつ増員するというものになっており、その基準を厳守しております。	
	3		7	児童が視覚的にもわかりやすい環境作りを心掛けています。建物の構造上階段もありバリアフリーになっていませんが、児童が移動する際には職員が一緒に行動して、安全に配慮しています。ペビーカーをご利用の場合は上げ下ろしのお手伝いをさせていただいております。	
業務改善	4		7	その日勤務の職員が揃う時間に業務連絡、療育内容の確認など話し合いの場を設けております。また定期的に会議を実施し、支援の改善点、療育の計画などすべての職員が情報を共有できるように図っております。	
	5		7	評価表を集計し、職員全体で向き合い、振り返りを行うことで業務改善に繋がっています。評価にあるご意見やご要望などについては、詳細にご意見を伺い、職員間で話し合い、内容を共有し取り組めるようにしております。	
	6		7	COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	7		7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	8		7	年間計画に沿った定期的な研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保しております。	
	9		7	児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状におこなった支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	10		7	社内共通様式で標準化されたアセスメントツールを活用しています。ツールには児童の意思表示の方法や身辺自立の状況、言葉や文字、数への理解など細かく書けるようになっております。	
	11		7	ケース会議を行い、児童一人ひとりの支援内容について意見を話し合った上で療育で取り組む課題をチームで設定しております。	
	12		7	定期的に行う固定プログラムのほか、季節の行事や児童の興味に配慮したプログラムも取り入れ楽しく意欲的に活動できるように工夫しております。	
	13		7	平日の療育に加え、長期休暇にはイベントなどを行い、集団活動の中で力を身に付けられるよう支援しております。	
	14		7	個別療育で語彙の獲得や、気持ちの伝え方等個々の課題の学びの場を持つようにし、集団活動の中でそれを活かして表現できるように見守っています。また職員が関わりの中に入って個別と集団を組み合わせての工夫を随時行っております。	
	15		7	毎朝ミーティングを行い、当日の担当や役割分担について情報共有や安全の確認を行っております。	
関係機関や保護者様との連携	16		7	支援終了後は全員での打ち合わせが難しい場合もありますが、気付いたことや反省点は職員間で共有して、翌日の朝のミーティングで確認するようにしております。	
	17		7	支援に対する記録は、療育担当者が必ず行い、切れ目のない支援に役立てております。記録はケース会議などで振り返り、今後の目標設定に活用しております。	
	18		7	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断しています。児童発達支援管理責任者が支援計画の見直しの時期を把握し、時期に合わせて、面談で聞き取りを行い、次の目標設定を検討しております。送迎時の保護者様との会話からもご意見として参考させていただいております。	
	19		7	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている。児童一人ひとりの課題に応じた具体的な支援内容が設定されております。児童一人ひとりの課題に応じて支援計画が立てられ、定期的な家庭支援の項目も記し家庭連携なども行っております。	
	20		7	対象児童について、事前に職員間で話し合い、現状把握のうえで、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参画しております。	
	21		7	保護者様を通し、学校での様子や相談ごとなどを学校と連携して相互理解を持つように努めております。	
	22		7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23		7	保護者様にご確認をとったうえで、情報提供を受けたり情報交換をして支援に役立てております。	
保護者様への説明責任等	24		7	現在まで障害福祉サービス事業所への移行になった年齢の利用児童には必要な情報を保護者様を通し提供しております。	
	25		7	例年関係機関とは積極的な連携に努めていますが、昨年度は感染症の拡大のため、電話以外の助言や研修を受ける機会は、持つに至っておりません。	
	26		7	殆どの児童は小学校や学童などで、個々に障がいのない児童との交流はできていると考えます。昨年までの感染症の流行もあり事業所主催の交流の機会は企画できておりませんでした。	感染症の状況に留意しながら事業所について理解を深めていただくため見学・話し合いなどを持つ機会があった場合、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	27		7	感染症の広がりがり協議会への参加機会を持つことができませんでした。	今後は感染症の状況に留意しながら積極的に関係機関の研修の機会を逃さず参加して助言を受け、密に連携が取れるように努めます。
	28		7	ご利用の都度、連絡帳に療育内容を記入してお伝えしています。また、送迎時に保護者様からのお悩みをお聞きしたり、事業所での様子や課題についてお話をしております。	
	29		2	送迎などの機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをお伝えするように努めております。また療育上必要でご家庭での協力が仰げるものはご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。	
	30		7	保護者様に分かりやすいように丁寧な説明を行っております。また契約の際の読み合わせでは質問やご不明な点がないかなどを確認しながら進めております。	
	31		7	連絡帳や来所時にご相談があった際には、児童発達支援管理責任者が中心となり職員間で共有しております。送迎時、連絡帳の他、できるだけ面談を行い、保護者様のお悩みの解決に向けて尽力しております。	
非常時等の対応	32		7	感染症の状況を確認しながら検討はしておりますが、昨年度は保護者会を開催できていません。その分事業所内での活動報告を掲示板などで積極的に発信し、連携を図っております。	感染症の状況に留意しながら開催については、保護者様のご意向を確認したうえで検討し、決定してまいります。
	33		7	こちらからもお申し付けを行い保護者様からのご意見や申し入れがあった場合は適切に対応しております。また担当者や連絡が取りやすいように配慮しご意見は全職員と情報共有し迅速な対応を心掛けております。	
	34		7	季節ごとにお便りを発行し、確認しております。作活動の様子、注意点（お知らせ）等を発信しています。また、事業所には玄関にお知らせ用掲示板を設置しております。	
	35		7	法人の定める個人情報保護に則して、名前の表示・状態などの配布・外での会話など漏洩がないように細心の注意を払っております。また書類は施錠ができるキャビネットにて保管しております。	
	36		7	児童独自の意思表示法などについては保護者様に教えていただき、確認しております。また、簡潔で分かりやすい声掛けや言葉だけでなく、身振りなどの視覚的支援を通して意思の疎通ができるよう心がけております。	
	37		7	感染症の状況を鑑み、事業所の行事に地域住民を招待するような企画は行っておりませんでした。	今後も利用児童の安全や感染症の状況に留意しながら地域への働きかけを検討してまいります。
	38		7	各種マニュアルは壁面に掲示して、保護者様に手に取ってご覧いただけるようにしております。また、定期的に児童とともに避難訓練を実施しております。	
	39		7	非常時避難用の道具（安全ヘルメット、防災頭巾、99カード他）を常備しております。定期的に非常時を想定した話し合いや児童と一緒に避難訓練を行っております。	
非常時等の対応	40		7	事業所に虐待防止責任者を選定し、すべての職員が事業所内研修に参加し、認識を深めております。	
	41		7	利用契約書に原則として身体拘束の禁止を記載していますが、やむを得ず必要となる場合については、保護者様の承諾を得て支援計画に記載するようしております。	
	42		7	指示書がある児童については保護者様と情報共有をおこない、各児童のアレルギートーに関する一覧表を作成して全職員に周知しております。	
	43		7	大きな事故を未然に防ぐという共通目的を意識し、小さなことでも気づいた点は記録に残して全職員共有しています。記録はファイリングし、過去の事例と合わせていつでも確認できるようにしております。	
	44		7	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。